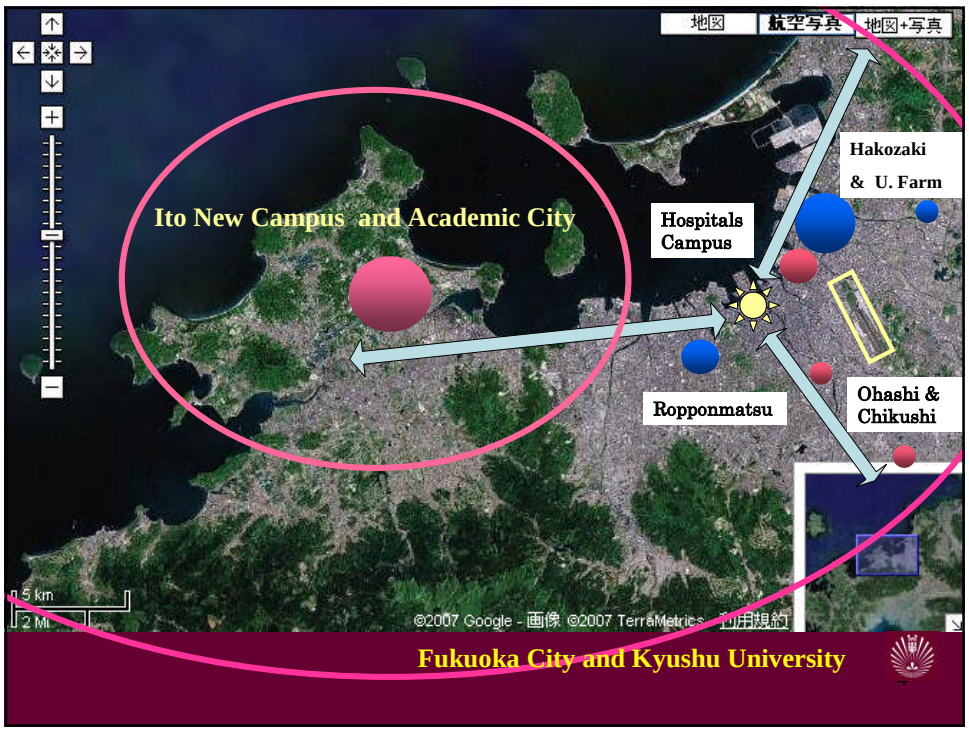
■地球を考える時代

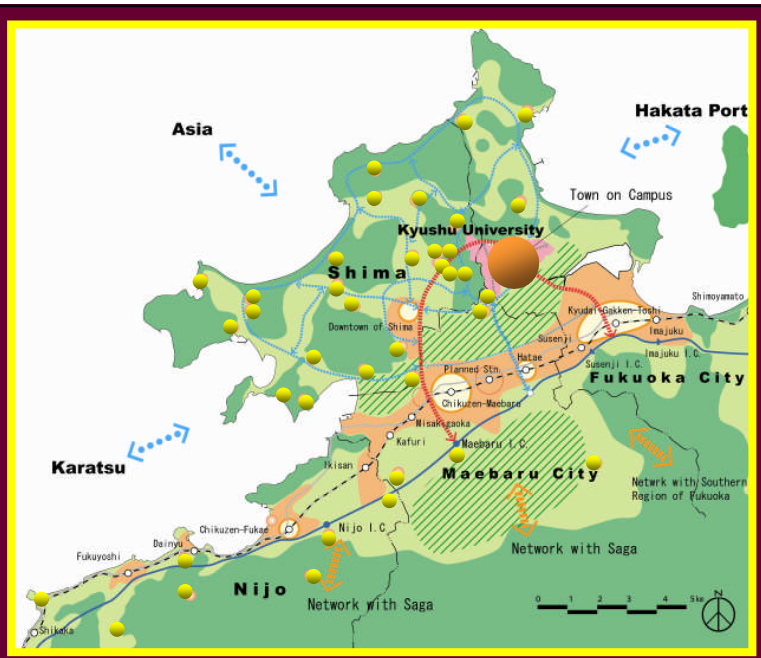
国際化、高度情報化、知の時代
高速大量輸送、発展途上諸国の台頭
限られた地球資源、低炭素社会

■地方の時代

地域環境の調和、少子高齢化
生活意識の変化、スローライフ
農・里山、地産地消

©2009 Google - 画像 ©2009 TerraMetrics 地図データ ©2009 ZENRIN


地図
航空写真
地図+写真
Ito New Campus and Academic City
Hospitals Campus
Hakozaki & U. Farm
Ropponmatsu
Ohashi & Chikushi
©2007 Google - 画像 ©2007 TerraMetrics 利用規約
Fukuoka City and Kyushu University



九州大学学術研究都市　Academic City

Accelerated to the Science City.
The mega store has advanced.
Progress rate 65%

February 8, 2009
The Yomiuri Shinbun

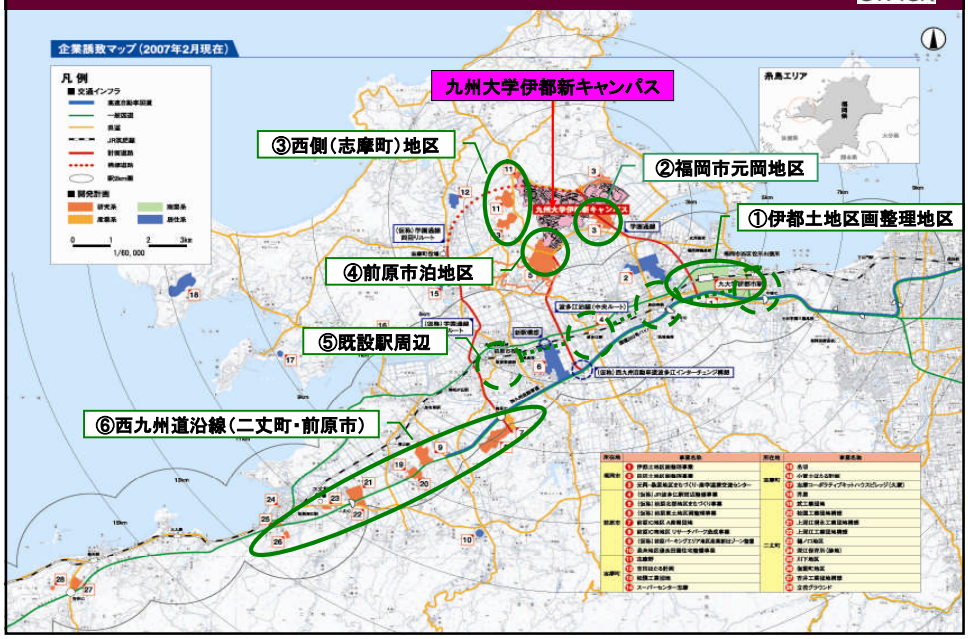
九大伊都キャンパス

学研都市へ 整備加速

大型店も進出 駅周辺区画整理 進ちょく65%

ニュース 地域探究便

九州大学学術研究都市の企業等立地エリア



伊都土地区画整理事業
OPACK
大規模大型店舗（平成18年4月開店）
JR九大学研都市駅（平成17年10月開業）
平成20年3月完成（75戸）
1F OPACK事務所
JR九大学研都市駅前
平成21年6月初旬完成予定（65戸）
ジオ九大学研都市駅前
Appearance
地域交流センター・今宿出張所（平成22年夏頃開館予定）
西警察署（平成18年4月開署）

新駅とショッピングセンター
New Station and Shopping Center
コスモス
AEON
公共交通の整備
Public Transportation
幼稚園
Kindergarten
もとおか幼稚園
農協
Agricultural Cooperation
JA福岡市

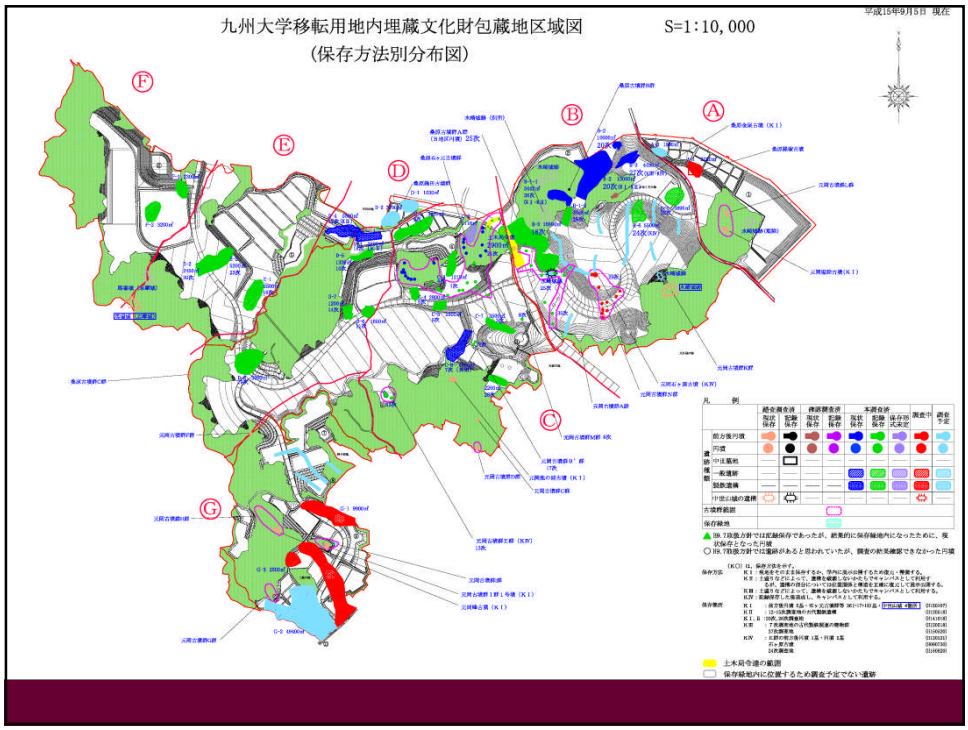
学園通り線
Main Road
学生居住
Student Housing
学生居住
Student Housing
消防署
Fire Department

©2007 Google - 画像 ©2007 DigitalGlobe, Digital Earth Technology - 利用規約

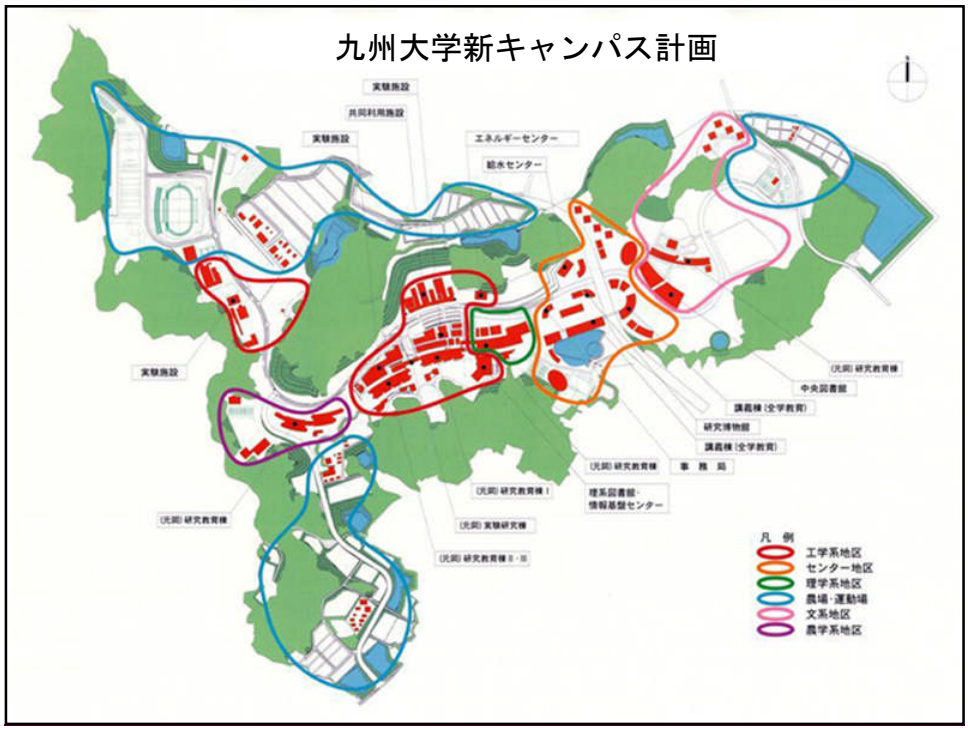
ITO New Campus

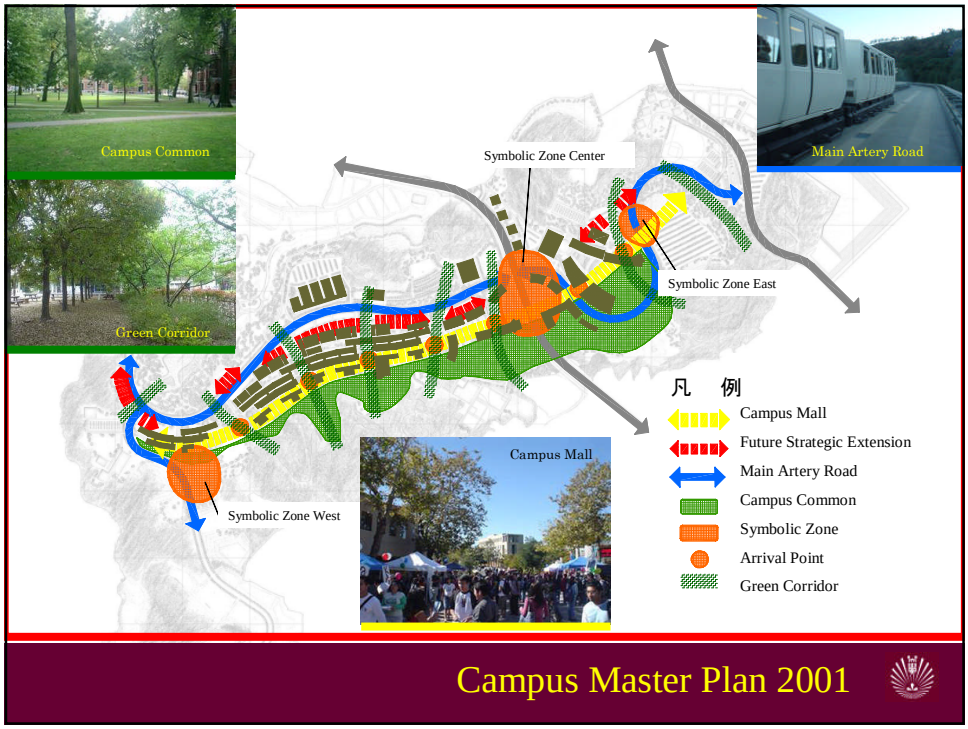
九州大学伊都キャンパス 2005-2019

山の標高とスカイライン形成の基準
キャンパス内の
最高標高
121m
水崎城址95m


平成15年9月5日 現在
九州大学移転用地内埋蔵文化財包蔵地区域図
(保存方法別分布図)
S=1:10,000
Ⓐ
Ⓑ
Ⓒ
Ⓓ
Ⓔ
Ⓕ
Ⓖ
凡 例
土木局令達の範囲
保存経地内に位置するため調査予定でない遺跡

九州大学新キャンパス
マスタープラン2001


九州大学新キャンパス計画
実験施設
共同利用施設
エネルギーセンター
給水センター
中央図書館
講義棟（全学教育）
研究博物館
事務局
理系図書館・
情報基盤センター
凡例
工学系地区
センター地区
理学系地区
農場・運動場
文系地区
農学系地区


Campus Common
Green Corridor
Main Artery Road
Symbolic Zone Center
Symbolic Zone East
Symbolic Zone West
Campus Mall
凡　例
Campus Mall
Future Strategic Extension
Main Artery Road
Campus Common
Symbolic Zone
Arrival Point
Green Corridor
Campus Master Plan 2001

新キャンパス計画の体制

■ 学内組織

総　長

役員会

マスターアーキテクト

委員会

将来計画委員会

新キャンパス計画専門委員会

・各ゾーンWG　・福利厚生WG

・環境WG　・緑地管理計画WG

・文化財WG　・パブリックスペースWG

・交通計画WG　・ライフスタイルPT　他

新キャンパス計画推進室＋事務局

■ 学外組織

(財)九州大学学術研究都市推進機構

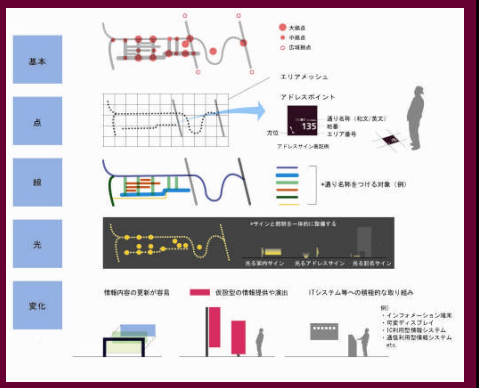
自治体

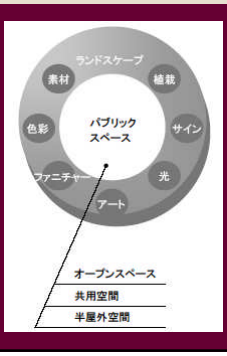
経済界

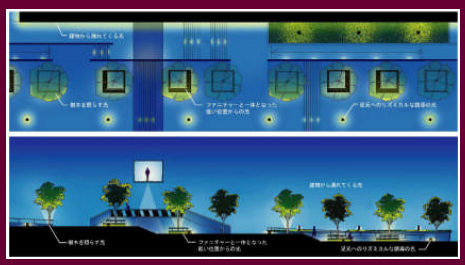
国の機関

地元住民

パブリックスペース・デザインマニュアル　2004



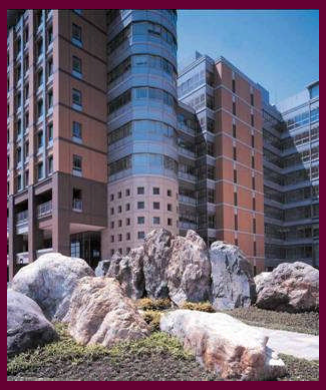




作者：田甫律子　東京芸術大学教授

九州の大地の逞しいダイナリズムをいつき石によって構成
中央の通路は伊都キャンパスを「国際連携軸」として、洋の東西を結ぶ
世界から集う「語る石」として留学生の声を音響アートに使用

QIAO チャオ



26

学生アンケート　2008.10
箱崎897人×伊都951人

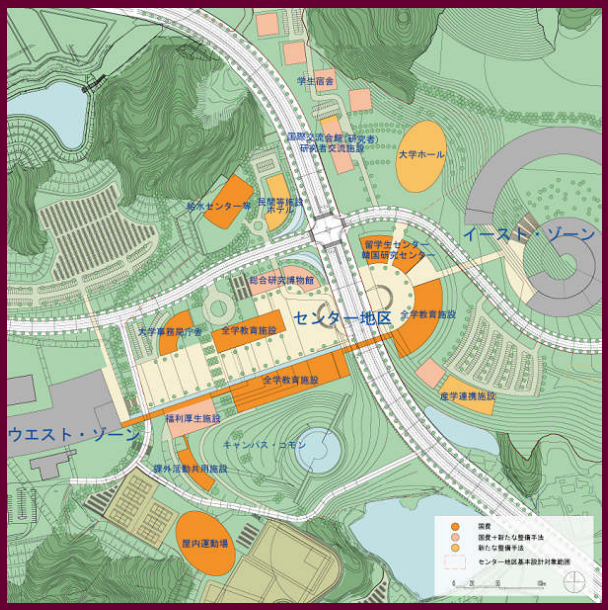
- 実家に住む　23%　×　15%
- 自動車所有率　13%　×　32%

ー自転車からバイク・原付・自動車へー

- 夕食を学内でとる　4%　×　20%
- レンタルビデオ週1回以上　6%　×　16%
- アルバイトをしている　39%　×　34%
- サークル活動をしている　21%　×　23%

センター地区基本設計　2003

センター地区基本設計　2003



移転スケジュール

移転人数合計　18．7千人【定員15．6千人】

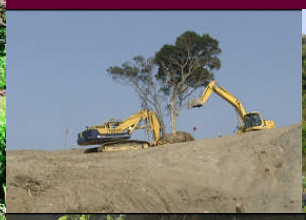
第Ⅰステージ 2005～2007	第Ⅱステージ 2008～2011	第Ⅲステージ 2012～2019
工学系Ⅰ，Ⅱ 理系図書館Ⅰ 約5．2千人 【定員 4．3千人】	全学教育 比較社会文化 言語文化他 理系図書館Ⅱ 約5．6千人 【定員4．6千人】 〈基幹整備及び 新手法による整備〉	理学系 情報基盤センター 中央図書館 文系 農学系 その他 約7．9千人 【定員 6．7千人】

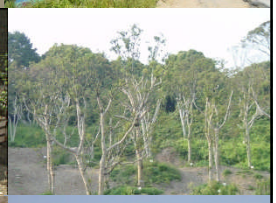
〈用地再取得　2013年度完了〉

緑地管理計画　Greenery Control and Planning

学生と教職員による竹林伐採

Bamboo Trimming by Students and Faculties

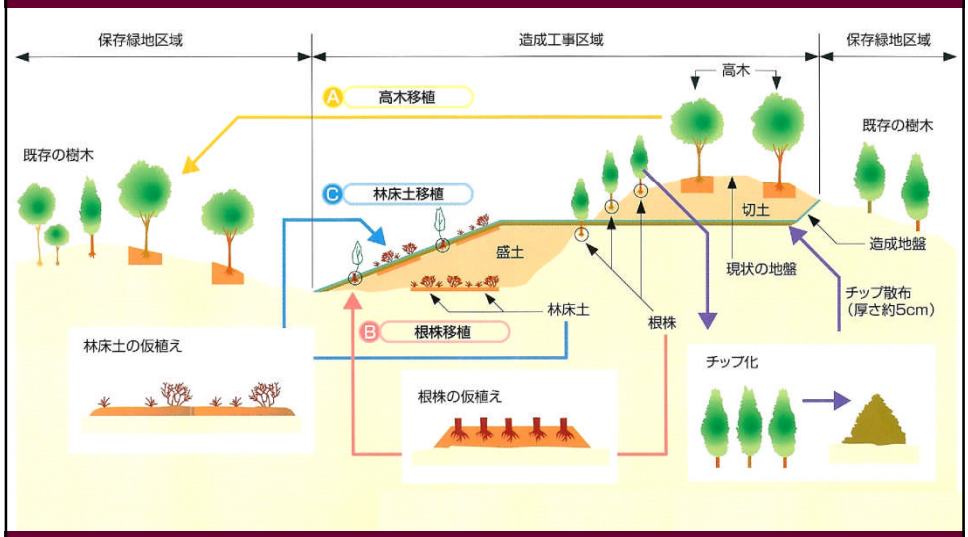




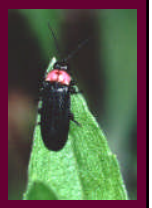
子供達によるどんぐりの森つくり

Planting by Children

■ 伊都キャンパスにおける環境保全



■ 伊都キャンパスにおける環境保全



ゲンジボタル

生態系の保全
（敷地の40％を緑地，着工前と比較し種数を減らさない）

歴史環境の保全
Preservation of Historical Environment

前方後円墳6基（5基を現状保存）
石ヶ元古墳群30基（17基を現状保存）
その他円墳38基（18基を現状保存）

経塚古墳（5世紀中頃）と近世墓地

子持ち勾玉と臼玉

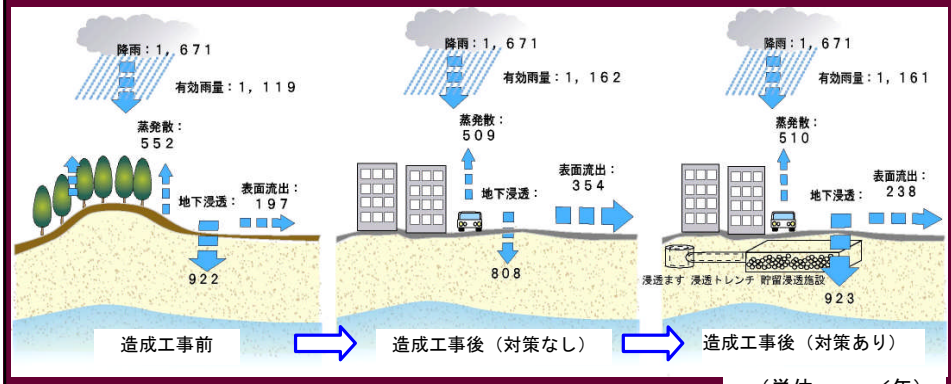
墨書土器・刀子・木簡（最古の元号木簡）

■ 伊都キャンパスにおける環境保全

環境監視調査の継続的な実施
（騒音，振動，水質，水文・水利用，陸生植物，陸生動物，水生生物）

水循環系の保全
（周辺地域における地下水利用に影響を与えない）

土木学会 環境賞を受賞
平成14年 5月



（単位：mm／年）

次世代技術の実証キャンパス

豊かな石油の時代の終わり
（石油はあと30～50年）
地球の温暖化

⬇

水素エネルギー・燃料電池システム
の利用・普及が必須
高効率・クリーン・多様なエネルギー源

「水素材料先端科学に関する研究開発」が
（独）NEDO技術開発機構のプロジェクトに採択

（独）産業技術総合研究所
水素材料先端科学研究センター設立（2006年）

超高圧水素の実験装置など
世界最大級の研究施設で高圧状態での測定が可能

41

水素センター

水素利用技術研究センター

（独）産業技術総合研究所
水素材料先端科学研究センター

学生による学生住宅プロジェクト（地元説明・意見交換会）

タウン・オン・キャンパス まちづくり推進会議　2007.3ー

2007年3月発足
2009年3月までに11 回 開催

主催
九州大学新キャンパス計画推進室
財団法人九州大学学術研究都市推進機構

参加者　学生29、地元・一般32、自治体職員35、大学教職員42　合計138人

主なテーマ
交流（21）
広い人間関係、イベント（16）
景観(12)
研究施設（11）
飲食・市（いち）（10）
公共交通(9)
住まい（8）
まちの緑（5）、ビジネス(5)
次世代の農業（3）、道路(3)、教育(2)
色彩、看板、医療福祉、まちづくり
地域との連携、
異文化交流イベント
言語や文化の紹介

元岡土地区画整理事業（約16ha）

OPACK

元岡土地区画整理事業(24年度完了予定)
■21年度着工、23年度造成工事完了
■23年度保留地処分開始(3~4ha)
（但し、一部早期建築も可能）

福岡市　産学連携交流センター

ダイハツ九州㈱　開発センター（仮称）

■食農環部会（しょくのわ）部会

Food/Agriculture/Environment WG

- タ市プロジェクト

  キャンパスで学生に農家の野菜を売り、交流する市をつくる

- 祭りプロジェクト

  地元の祭りに参加して交流する

■まちづくり部会

Town Planning WG

交通に関するWG

景観に関するWG

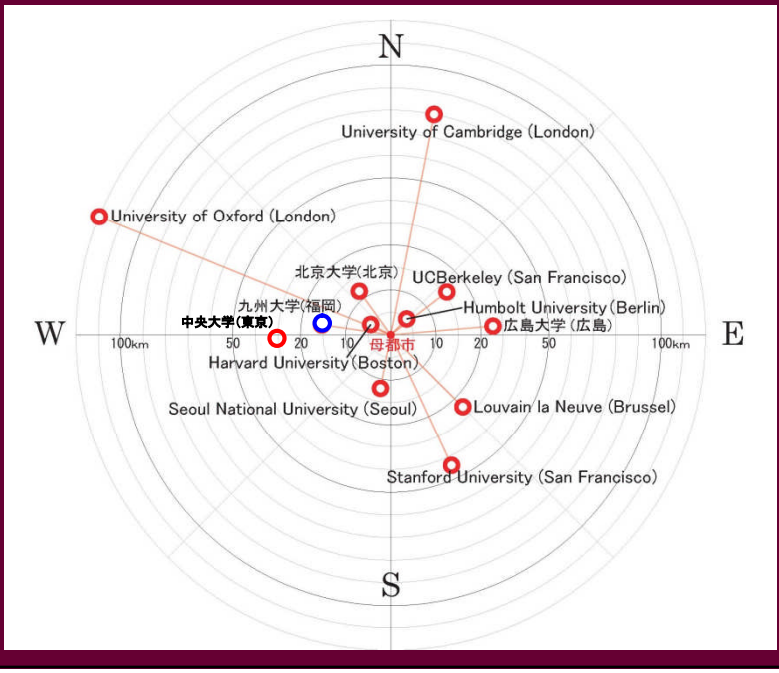
まちの仕掛けづくりに関するWG

■情報交流部会
Information Exchange WG

- お祭り等のイベントを学生達に周知する
- 双方向、エリアの理解
- 紙媒体のフリーペーパー
- コミュニティラジオ（FM）

ITO
Festival

都市と大学の距離



都市と大学の連携　　2000-

Relationship between City and University

日本建築学会キャンパス計画小委員会　2000－

・情報交流シンポジウム (第11回)　2008.8
・オーガナイズドセッション　2008.8
・ドイツーイタリア大学調査 2008.11
・出版「キャンパスマネジメント・ハンドブック2004」
・出版「地域と大学の共創まちづくり2008」

日本都市計画学会21世紀ビジョン研究分科会
2005－2007

大学サミット・イン九州　テーマ「都市と大学」 2007
九州大学主催

イギリス、ベルギーの学術研究都市調査

目　的：学術研究都市の整備を適切に推進するため

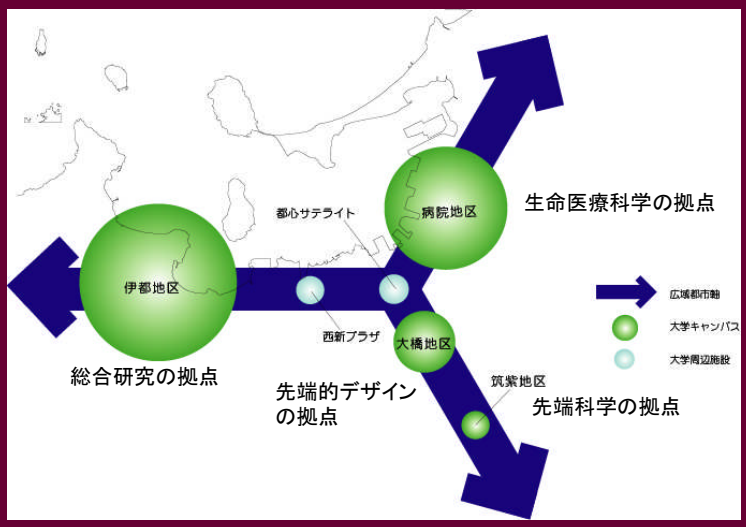
期　間：2004年7月4日から6日間

メンバー：
鎌田迪貞氏（推進協議会会長、九州・山口経済連合会会長、九州電力代表取締役会長）、麻生渡氏（福岡県知事）、山崎広太郎氏（福岡市長）、石原進氏（九州旅客鉄道代表取締役社長）、梶山千里総長など17名。

前原市，志摩町，二丈町と
協力協定を締結
平成18年6月23日(金)
July 23, 2006
Cooperation agreement between Kyushu University and Maebaru , Shima, Nijo Municipal Governments

福岡市と協力協定を締結
平成17年11月16日(水)

November 16, 2005
Cooperation agreement between Kyushu University and Fukuoka City



九州大学の構造

Structure of Kyushu University